



# ポプラ中

小原小中学校（小原学園）  
学校だより  
令和2年7月28日  
【第11号】  
文責：教頭

## <小さな積み重ねが大切です！>

近年、子供たちの体力低下が叫ばれています。スポーツ庁によると、特に小学生男子の体力低下が著しく、体力・運動能力調査の結果では、平成20年度の調査開始以降、最低の数値を記録しているそうです。

では子供たちの体力が低下している原因は何なのでしょう。それは暮らしが便利になり運動する機会が減ったこと、スポーツや遊びに必要な時間や場所が減少したこと、そして生活習慣の乱れなどがあげられるそうです。また、このコロナ禍の状況では、子供たちの運動の機会がますます減り、体力の低下に更に拍車がかかることが危惧されております。

そのような課題に対し、本校小学部では毎週金曜日の朝の時間に、全校朝運動を実施し、児童の体力向上を図っています。また中学部でも、部活動の推進や各学年で工夫しながら体力の向上を図っています。

子供たちの体力向上は、一朝一夕には行えません。やはり小さなことの積み重ねが大切です。ぜひこれからも続けていきたいと思っております。



四月に比べると、みんなフラフープを上手に回せるようになりました。



運動の最後は、全員で鬼ごっこ。短い時間でもかなり体力を使います。



中学三年生 業前にスクワットタイム。みんなの笑顔がいいですね。



中学生は全員ソフトテニスボール部に所属して、頑張っています。

# 地域に学ぶ ～白石和紙で作るうちわ・文鎮作り～



地域の方を講師に迎え，白石市に古くから伝わる良き伝統文化，伝統工芸，伝統芸術について学ぶ「小原科」。

今回は，7月16日（木）に行った，「白石和紙で作るうちわ・文鎮作り」についての取組を紹介いたします。

講師は先月トラフコウゾの植え付けの指導をされた白石和紙工房「蔵富人（くらふと）」の阿部桂治さんをはじめ，4名の方に教えていただきました。対象は小原中学校の生徒19名と中学校教員9名です。

最初に白石和紙の歴史についてビデオで視聴し，その後実際にうちわ作りに取り組みました。うちわの骨組みに白石の和紙を貼り，余分な部分を取り去っていきます。一つ一つ丁寧な作業が必要になります。そして，乾燥させた後に，自分の好きな絵を描いて完成です。絵付けは7月30日（木）に行いますので，生徒たちの作品を学習参観日にぜひご覧ください。また，うちわ作りで残った和紙を使い，世界に一つしかない自分だけの文鎮も作りました。



和紙に丁寧に糊付けをしています。



教師も一緒にうちわと文鎮を作りました。



テレビ局の取材に答える桜介くんです。



文鎮ができました。うちわは木曜日に完成予定です。

## 【ありがとうございます】



7月20日（月）の朝に，本校職員が校庭の草がきれいに刈られていることに気が付きました。業務員に聞いても，誰が刈ってくれたのか分からないとのことでした。心当たりがある保護者や地域の方に電話をしても見つけることはできませんでした。

どなたか分かりませんが，暑い中，雑草を刈っていただき本当にありがとうございます。大変助かりました。